

H40

- **2011年7月改訂（第4版）
 *2007年6月改訂
 *貯法：気密容器、室温保存
 （「取り扱い上の注意」の項参照）
 *使用期限：容器、外箱に表示

漢方製剤

本草 猪苓湯エキス顆粒-M

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)第4818号
薬価収載	1987年10月
販売開始	1987年10月

**◇組成・性状

販売名	本草猪苓湯エキス顆粒-M	
組成	本品7.5g中（3包中） 日局チヨレイ…3.0g 日局カッセキ…3.0g 日局ブクリヨウ…3.0g アキヨウ…3.0g 日局タクシヤ…3.0g より製した水製乾燥エキス2.4gを含有する。	
	添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ステアリン酸マグネシウム
性状	剤形	顆粒剤
	色	淡黄かつ色
	におい	わずかに特異なにおい
	味	わずかに苦い
識別コード	H40	

(4)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

(5)小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

*◇取り扱い上の注意

本品の品質を保持するため、直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管し、開封後は湿気に注意して、フタを十分に閉める等、取扱いに注意すること。

◇包装

500g 2.5g×294包 2.5g×42包

*◇文献請求先

本草製薬株式会社 学術部

〒468-0046 名古屋市天白区古川町125番地

◇効能・効果

尿量が減少し、尿が出にくく、排尿痛あるいは残尿感のあるもの。

◇用法・用量

通常成人は1日7.5gを3回に分割し食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

◇使用上の注意

(1)重要な基本的注意

- 1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

(2)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、瘙痒等
消化器	胃部不快感等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(3)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

本草製薬株式会社
名古屋市天白区古川町125番地

H40